在家中だより

No. ４６１　令和５年１２月１日(金)

川口市立在家中学校　川口市大字安行領在家２７２番地
０４８（２９５）４１０２　FAX ０４８（２９５）５６６１
URL　https://zaike-j-kawaguchi-saitama.edumap.jp/

・心身ともにたくましい生徒
・自ら進んで学ぶ生徒
・豊かな情操を培う生徒

夢の叶え方

校長　鈴木　玲

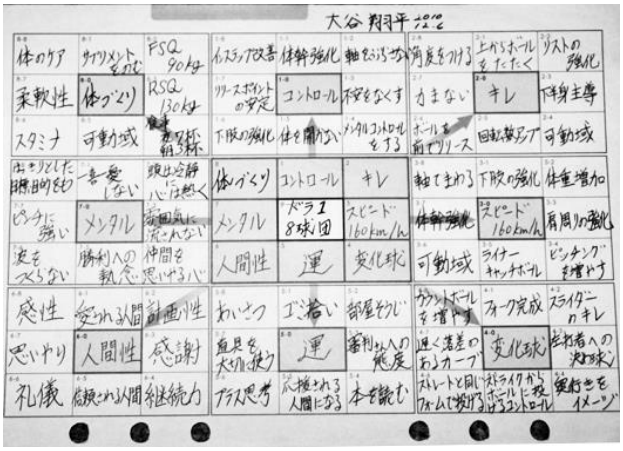
「希望する進路、将来の夢について今 考えていることを教えてください。」

現在、３年生の校長面談を行っています。これは全ての生徒に必ず聞く、面談での１つ目の質問です。看護師、ゲームクリエーター、プロスポーツ選手……といった具体的な職種から、「海外で活躍したい」「得意な語学を活かしたい」「何か資格を取りたい」などのように、今はまだ細かなことまでは絞り切れていないという人もいますが、色彩豊かで大きな夢が口々に語られます。中には、高校など、まず目の前にある進学先に対する希望を答えてくれる生徒もいます。これもまた大切な目標であり、新年度を迎えてから一歩一歩、夢を積み重ねていくことになります。

在家中の掲げる本年度の〈目指す学校像〉は**「夢の実現に向かって個を活かし、協働しながら前進する学校～ 自ら考え、行動し、社会に貢献できる人間の育成 ～」**です。この中にある「夢の実現に向かって」という文言は歴代の校長先生方がこれまでにも〈目指す学校像〉の中に掲げ、大切に育んできた在家中の姿です。

思い起こせば、１学期には２年生が水上自然教室のキャンドルファイヤーで自身の夢を一人一人語ってくれました。その夢や思いは今も、あの時のロウソクの火とともに心の中に灯(とも)り続けているでしょうか？そして、２年生のみなさんは、あの時に私が漫画「スラムダンク」の話をしたことを覚えているでしょうか？ 「スラムダンク」の主人公 桜木花道(さくらぎはなみち)は全国大会の試合中、超格上の山王(さんのう)工業高校を相手に観客に向かって「ヤマオーはオレが倒す！」と大声で宣言します。そして、今度はチームメイトに向かって「これで勝つしかなくなったぜ」と言います。目標を言葉として発することで自ら退路を断ったのです。目標を必ず達成しようとする強い意志の表れであり、これぞまさに『有言実行(ゆうげんじっこう)』です。水上ではさらに、言葉には『言霊(ことだま)』という不思議な力が宿っており、ポジティブな言葉はポジティブな結果に、ネガティブな言葉はネガティブな結果に、発した言葉が結果として表れると古くから考えられているという話もしました。

もともと『有言実行』という言葉はありませんでした。何も言わず黙って実行する意味の『不言実行(ふげんじっこう)』から派生した言葉で、国語辞典に載せられたのは２０００年代に入ってからです。あれこれ言わずに行動する慎(つつ)ましさが日本人の美徳とされていましたが、自分の言ったことに対して強い決意と責任をもち、行動に移す姿への評価が高まったのでしょう。私は夢の実現のために、この『有言』が鍵だと考えています。



大谷選手が高校時代に書いたマンダラチャート

そして、夢の実現には、そこにたどり着くための道筋を明確にする必要もありますし、さらに可視化することが良いのでしょう。数年前に話題になりましたが、メジャーリーグで活躍する大谷翔平選手が高校時代に書いたマンダラチャートがそれです。『８球団からのドラフト１位指名』という夢を叶えるべく、17歳の高校生が言葉として書き表し、実際に行動に移した結果は、今、みなさんが目にしているとおりです。

夢を言葉にすることは実現への一歩目です。３年生の、そして在家中生すべての夢が叶うよう、応援しています。